



平成25年度富山県総合防災訓練の実施について

1 目的

災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や県民の防災意識の向上を図るため、国の機関、市町村、広域応援協定を締結している他県や団体、防災関係機関、自主防災組織、ボランティア団体並びに地域住民等の参加のもとに、東日本大震災の教訓や豪雨災害をふまえ、新たな訓練項目を大幅に拡充し、実践的な総合防災訓練を実施する。

2 概要

(1) 日時 8月25日(日) 8:30~12:00(予定)

(2) 場所 高岡市6会場(二塚(ケルトーム)周辺、メイン会場)、伏木、古府、太田、牧野、淵ヶ谷
射水市2会場(放生津、本江) 計8会場

(3) 主催 富山県、高岡市、射水市

(4) 主な被害想定

- ① 呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生し、高岡市、射水市で震度7、富山湾に大津波発生
- ② 県西部で局地的な集中豪雨発生

3 今回の防災訓練の主な特色【高岡市関係分】(注) 新は今回の訓練での新規項目

(1) 津波災害に対する実践的な訓練

新津波ハザードマップに基づいた避難訓練(伏木、古府、太田、牧野会場)

新列車乗客等に対する津波避難誘導訓練(太田会場周辺)

新市との協定に基づいた一時的な津波避難ビルへの避難訓練(伏木、太田会場)

(2) 都市型災害への対応訓練

新大型ショッピングモールにおける避難誘導及びバルーンシェルターの設置訓練(二塚会場)

新帰宅困難者対応訓練(二塚会場)

・水道、ガス、電気等のライフラインの復旧・確保のための訓練(二塚会場)

・中高層建物や座屈倒壊建物からの救助訓練(二塚会場)

(3) 消防、県警、自衛隊、DMAT等の連携による様々な災害現場を想定した救助・医療活動

・多重衝突事故現場からの救助訓練(二塚会場)

・富山県DMAT、JMAT等による災害医療活動(二塚会場)

(4) 住民への防災意識の啓発

新屋内展示場を活用した大規模な防災フェスティバルの開催(二塚会場)

新水難事故対策のための着衣泳体験(伏木、古府、太田会場)

(5) 豪雨災害への対応訓練

・市街地における内水氾濫対応のための土のう積み訓練(二塚会場)

・土砂災害情報伝達・河道閉塞訓練(淵ヶ谷会場)

・ヘリコプターによる林野火災消火訓練、緊急物資投下訓練(淵ヶ谷会場)

(6) 災害時要援護者に対する支援活動

・福祉避難所の開設・運営訓練(太田会場)

・聴覚障害者等に対する避難誘導や避難所生活での支援(伏木会場)

・外国人災害情報ヘルプセンターの設置・運営訓練(二塚会場)

4 参加機関等

- ・参加機関数 約120機関

※主な参加機関

国関係：国交省富山河川国道事務所、国交省立山砂防事務所、自衛隊、中部管区警察局、
富山地方气象台、国土地理院北陸地方測量部、伏木海上保安部

県関係：富山県、県警本部、県社会福祉協議会、県医師会、県看護協会、県薬剤師会

市町村関係：高岡市、高岡市消防本部、射水市、射水市消防本部

指定公共機関等：日本郵便、J R西日本、中日本高速、NTT西日本、NTTドコモ、
北陸電力、日本通運

病院関係：富山県立中央病院、富山大学付属病院、富山市民病院、高岡市民病院、
厚生連高岡病院、砺波総合病院、日本赤十字社富山県支部、
射水市民病院、済生会高岡病院、高岡市医師会、射水市医師会

応援協定関係等：新潟県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、全国災害救助犬協会、
日本自動車連盟、富山県トラック協会、北陸銀行、柔道整復師会

- ・参加人員 約4,000人（うち住民 約2,300人）

- ・車両等 車両約120台、ヘリコプター5機（富山県、新潟県、長野県、静岡県、北陸地方整備局）、固定翼1機（航空自衛隊）、船舶4隻（伏木富山港湾事務所、伏木海上保安部、射水市消防団）

担当：総務部総務課危機管理室

室長 久郷（くごう）

電話 20-1229（内線308）

平成 25 年度富山県総合防災訓練に係る会場位置図

